



自然とヒトとのつながりを考える

nature  
forest  
human  
life

# JISE SEMINAR

IGES-国際生態学センター

## 公開研究会 (参加無料)

日時：2011年8月30日(火) 14:00~17:00  
 場所：横浜市社会福祉センター 大会議室8F  
 定員：40名(一般対象)  
 主催：財団法人地球環境戦略研究機関 国際生態学センター  
 後援：独立行政法人国際協力機構 横浜国際センター

プログラム：

- 14:00 開場
- 14:25-14:30 開催趣旨説明
- 14:30-15:30 第一部：招待講演  
「カンボジア・トンレサップ湖の浸水林植生とヒトのかかわり」  
荒木祐二(埼玉大学 教育学部)
- 15:40-16:30 第二部：研究・活動報告  
「ラオス北部ルアンプラバン県3村落におけるヒトと森」  
矢ヶ崎朋樹(IGES-国際生態学センター)
- 16:30-16:50 総合討論、質疑応答

申込方法 お名前、ご連絡先、参加人数を事前に下記までご連絡ください。  
 申込先 財団法人地球環境戦略研究機関 国際生態学センター (IGES-JISE)  
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 横浜西合同庁舎3階  
 TEL. 045-322-1223 FAX. 045-322-1225 E-mail yagamorpha\_sp15@jise.jp (担当 矢ヶ崎)

food  
medicine  
water  
firewood





# 「自然とヒトとのつながりを考える」

## <開催趣旨>

近年、とりわけアジア・アフリカ地域では、森林の減少・劣化が急速に進み、かつて普通に見られたヒトの営み（生業）とともに、本来そこに生育・生息していた野生生物が消滅するなど、さまざまな現状が指摘されています。その背景には、森林の違法伐採、過度の焼畑農業、無秩序な土地利用、過放牧、自然災害、住民の貧困など、さまざまな自然的／社会的要因が関係しています。いま一度、人間活動からもたらされる環境への負荷を考慮すると同時に、自然から発せられるシグナルを読み解き、持続可能な“自然とヒトとの関係”を模索することが必要と考えられます。そこで、今回の研究会では、「自然とヒトとのつながりを考える」と題し、生物資源管理や森林保全に取り組む2名の演者から日頃の成果や話題を提供いたします。

第一部では、植生生態学や植物資源管理の分野で国際的に活躍の埼玉大学教育学部の荒木祐二氏をお招きし、「カンボジア・トンレサップ湖の浸水林植生とヒトのかかわり」について話題を提供していただきます。第二部では、地球環境戦略研究機関（IGES）や国際協力機構（JICA）との協働で実施された調査活動の報告を兼ね、IGES-国際生態学センターの研究員が「ラオス北部における村落住民のくらしと森」について話題を提供いたします。

この研究会を通して身近な地域から世界へと視野を広げ、ヒトと自然との良き関係を模索するきっかけとなれば幸いです。多くのおみなさまのご来場をお待ちしております。

## 招待講演 演者紹介

荒木 祐二 氏（埼玉大学 教育学部 技術教育講座 准教授）

東京大学アジア生物資源環境研究センター特任研究員（2008-2009年）、同大学同センター特任助教（2009-2010年）、横浜国立大学教育人間科学部産学連携研究員（2010-2011年）を経て、現職。博士（環境学）。専門分野は植物生態学・環境マネジメント。2004年よりカンボジアの調査に参画し、トンレサップ湖氾濫原の植生調査と住民の植物資源利用調査に取り組む。論文・著書には、「熱帯湖岸生態系の植生学的研究と持続的マネジメントーカンボジア・トンレサップを例にー」（技術マネジメント研究 vol. 8, 2009年）ほか、生態・環境・植生・カンボジアに関するものが多数ある。

## 会場案内

横浜市社会福祉センター 大会議室 8F [JR／市営地下鉄桜木町駅より徒歩2分]

(横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター8階)

